

14年前のタイムカプセル、発見！

8月15日（日）旧山形保育園

旧山形保育園で先月号掲載の14年前に埋められたタイムカプセルが発見されました。

搜索は雨や酷暑に見舞われ難航しましたが、2日目の搜索開始から1時間後、手紙の入った瓶のふたが姿を現すと、歓声があがりました。

手紙の開封後、当時6歳でタイムカプセルを埋めた皆さんは「近所の人からのコメントもあり、多くの人に支えられたと実感した」「保育園の頃から変わらないこともあったが、人間としての成長を感じた」など、互いに感想を話されていました。



◀タイムカプセルを掘り起こす様子



木の皮を剥がす作業の様子

のぼり竿の掛け替え神事が行われました

8月29日（日） 蛭井神社

蛭井神社で十数年ぶりにのぼり竿の掛け替え神事が行われました。

芦津の山中から切り出された長さ約20メートルの大きな杉の木は、宮司の祈禱後、集落の人々によって厚い皮を剥がされ、塩と編んだタワシを使って白い木肌を美しく磨き上げられました。新しいのぼり竿に掛け替えられた蛭井神社では、10月に例祭が行われる予定です。

智頭杉で制作した一万艘の「ミニ天馬船」が神田川を航行しました！

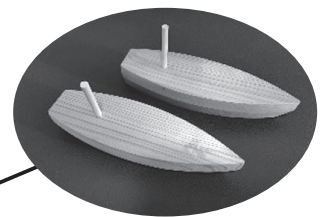
9月5日（日）東京都千代田区 神田川

東京で開催された国際芸術祭「東京ビエンナーレ」のイベント「天馬船プロジェクト2021／神田川」で、(株)サカモトが制作した天馬船が神田川を航行しました。

イベントはYouTubeで生配信され、自然の流れに委ねながら航行する天馬船レースを鑑賞しながら、水辺環境や文化・歴史を考える機会となり、かつて木造船の材料として利用された智頭杉がPRされました。



▲配信の様子



◀神田川を流れる「ミニ天馬船」